

東小だより

学校だより 3月号

R4. 2. 28

昭島市立東小学校

校長 東口 孝正

弥生の風

副校長 田村 秀明

感染力が強いオミクロン株が流行しています。先日、「東京都では1日の感染者数が7日連続で前の週を下回った」という明るい兆しのニュースがありました。分からないことが多い新型コロナウイルスですが、感染拡大防止のためは今後も健康維持について考え、努めて体調を整えていくことが必要です。学校でも、継続して感染防止に努めてまいります。ご家庭でも健康観察の徹底をお願いします。家族内に1人でも風邪様症状の方がいらっしゃる場合には、必ず学校にお電話ください。鼻や喉の違和感程度も含む初期症状の場合にも必ずお願いいたします。出席停止の場合には、合わせて、再登校日の朝の電話と登校届の提出をお願いしています。登校届は以前に配布していますが、もしも、お手元にない場合には、担任までお知らせください(学校ホームページにアクセスして印刷することもできます)。病院での検査が陰性でも、ご家族全員の風邪様症状が完全に治るまでの間は出席停止となります。もしも、ご不明な点がありましたら、学校までお電話ください。

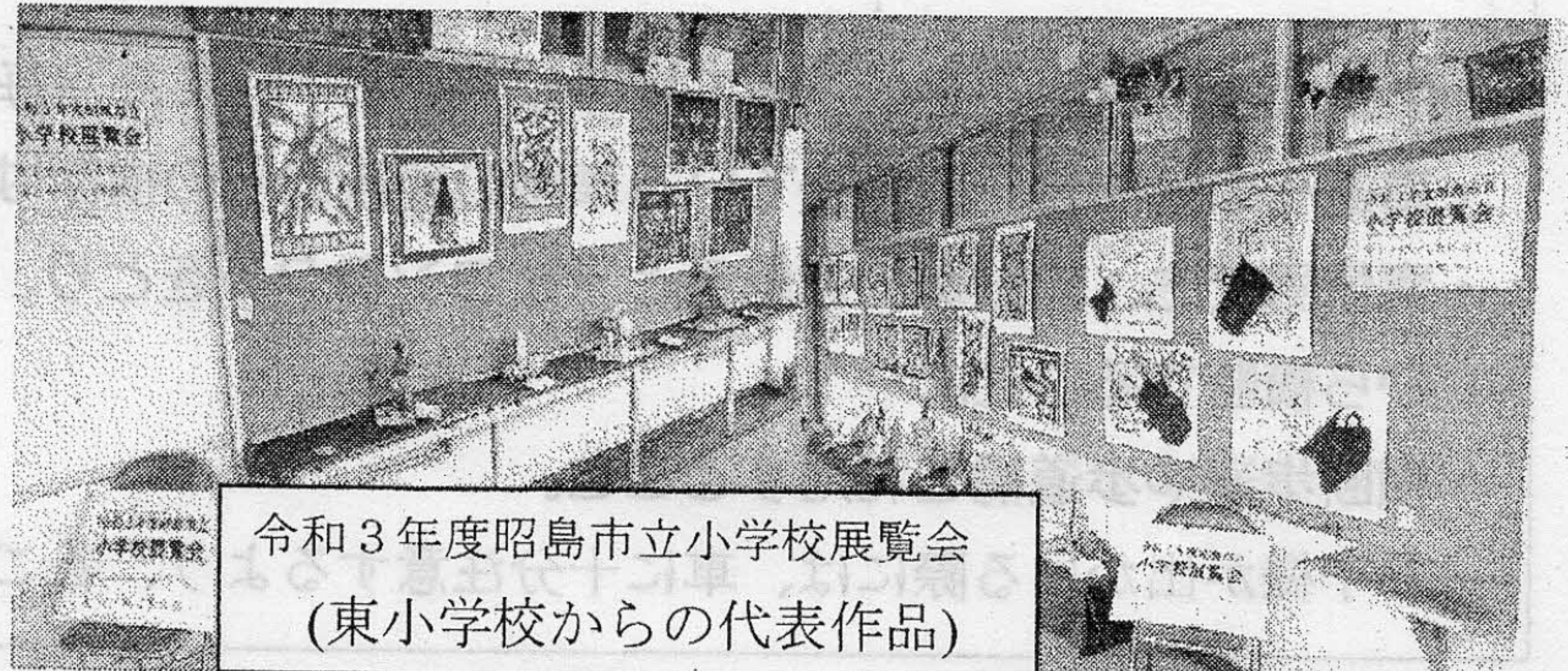
さて、これまで、新型コロナウイルス感染症対策により、子供たちはずっと制限のある中で過ごしてきました。そして、この制限下であっても、子供たちにとって価値のある教育活動となるように最大限に努めてきました。校内の施設面では、北校舎西側トイレと南校舎トイレの工事が終わり、手洗い場も新しくなりました。また、5月に始まる調理場の拡張工事に先立って、畑の移設工事が終わったところです。

さて、早いもので、令和3年度の教育活動を締めくくる最後の月を迎えます。この1年間に、どのような学びや成長があったのか、子供たち一人一人が振り返りを行います。大きなランドセルを背負って登校した1年生も、今はあの入学当時の姿はありません。心も体もすっかり「東っこ」になりました。

6年生にとっては卒業の月。夢をもち、希望をもち、胸を張って進学して欲しいと思います。4月からは新しい環境が待っています。新しい友達との出会いもあります。そんな期待と少しの不安をもち合わせながら、最後の小学校生活、東小の最高学年として、有終の美をかざるべく、日々努力をしているところです。

本来であれば、5年生は在校生を代表して卒業式に参加します。卒業式への参加は、最高学年となる自覚をもたらす機会になりますが、未だにコロナ禍が続いている現状があるため、現5年生にはそれが叶いません。その分、委員会活動やクラブ活動等で大切なことを6年生からしっかりと引き継ぎます。同じように、1年生から4年生までの在校生も、新年度に向けて気持ちを引き締め、次の学年へと進みたいものです。一日一日の積み重ねが次への飛翔へとつながっていきます。まとめの学習にもしっかりと臨んでくれることを願いながら教育活動を進めてまいります。

耳を澄ませば、わずかに春の足音が聴こえます。桜の咲くタイミングも、すぐそこまでできています。「東っこのためのチーム東小」として、彌生の風を感じながら、保護者・地域の皆様と共に令和3年度を終えることができますことに、心より感謝申し上げます。1年間、ありがとうございました。



令和3年度昭島市立小学校展覧会
(東小学校からの代表作品)